

地元企業の景況 第123号

郡上市八幡町新町958番地1
八幡信用金庫
総務部
TEL(0575)65-3407
FAX(0575)65-3914

<業況判断>

今期業況悪化、来期も悪化の見通し

I 今期 (2025年10月~12月期)

1. 今期の業況判断D.I.は▲21.8と前期(2025年7月~9月期)▲18.0に比べ3.8ポイント悪化となった。
2. 業種別では、農業、卸売業で改善、建設業、製造業、サービス業で横ばいも、飲食業、小売業、不動産業で悪化となった。

II 来期 (2026年1月~3月期)

1. 来期の業況判断D.I.は▲30.9と今期▲21.8に比べ9.1ポイント悪化予想。
2. 業種別では、小売業、飲食業で横ばいも、農業、サービス業、不動産業、製造業、卸売業、建設業で悪化の見通し。

業況判断図(業種ごとの業況を表情図で示しました。)

業種	時期	前期 2025年 7月~9月	今期 2025年 10月~12月	来期 2026年 1月~3月
	製造業			
卸売業				
小売業				
飲食業				
サービス業				
建設業				
不動産業				
農業				
全業種				

DI<▲30	▲30≤DI<▲15	▲15≤DI<0	0≤DI<15	15≤DI<30	30≤DI

調査概要

- 調査目的 郡上市・下呂市・高山市・大野郡白川村の当金庫取引先の景気動向
- 調査対象 当金庫取引先 228先
(郡上市202社 下呂市14社 高山市・大野郡白川村12社)
- 調査時期 2025年12月1日~12月31日
- 調査時点 2025年12月31日時点
- 回収状況 配付数 228先(うち回収数188先) 回収率 82.5%
- 調査項目 (1)業況判断 (2)売上・受注 (3)採算水準 (4)資金繰り
(5)製品(商品)在庫 (6)設備投資 (7)経営上の問題点 (8)業況の回復時期
- 補足調査 製造業、小売業の「売上高」「受注額」「業況判断」の前年同期との比較
- 参考資料 有効求人倍率について
- 調査方法並びに注意事項
- ・アンケート項目毎の増加(上昇・好転等)企業割合と減少(低下・悪化等)企業割合の差による数値判断…D.I.(ディフュージョン・インデックス)
 - ・数値のほかグラフも掲載しております。
 - ・比率に関しては小数点第2位を四捨五入しております。
 - ・建設業に関しては、「売上、受注」項目において「受注」として別掲扱いとしております。

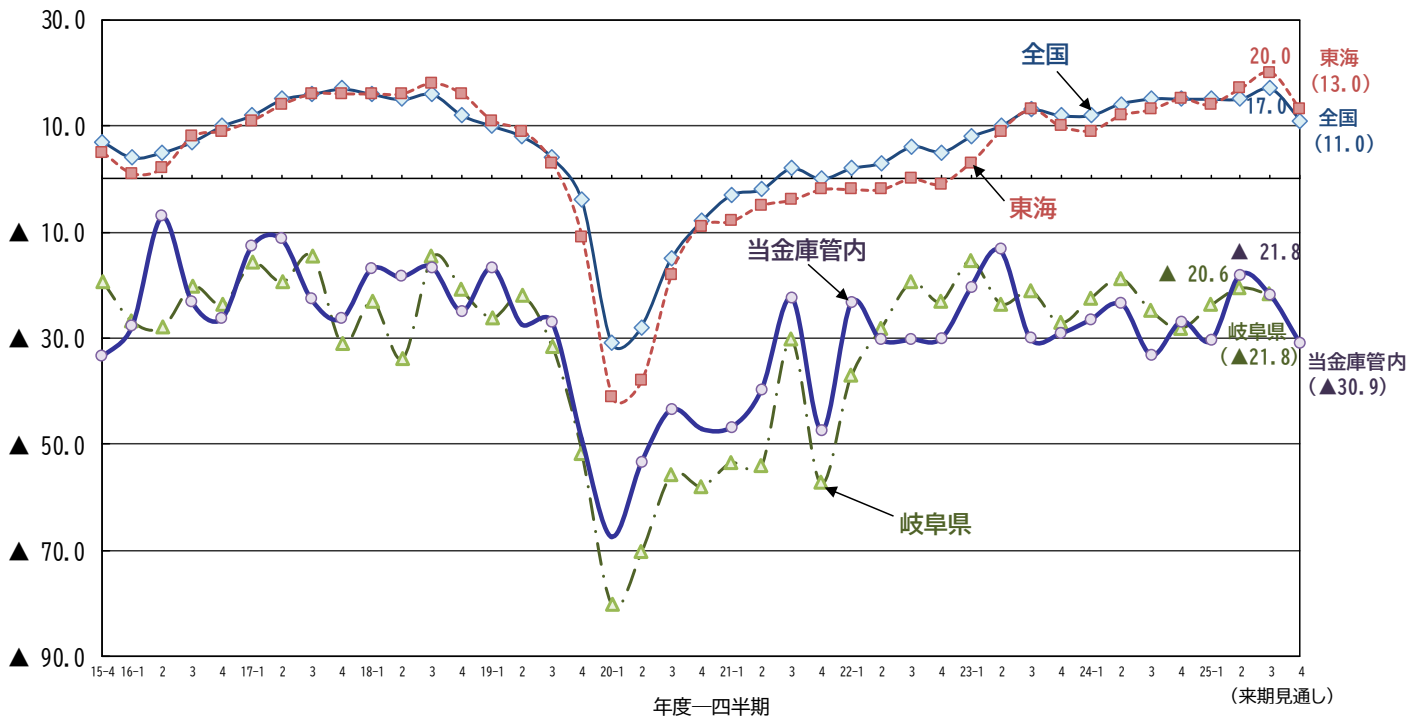
1. 業況判断

全業種の業況判断D. I. (良い-悪い) は、今期 (2025年10月~12月期) ▲21.8と前期 (2025年7月~9月期) ▲18.0と比べ3.8ポイント悪化となりました。

業種別では、農業、卸売業で改善、建設業、製造業、サービス業で横ばいも、飲食業、小売業、不動産業で悪化となりました。

来期 (2026年1月~3月期) の業況判断見通しは▲30.9と今期▲21.8に比べ9.1ポイント悪化予想となっています。業種別では、小売業、飲食業で横ばいも、農業、サービス業、不動産業、製造業、卸売業、建設業で悪化の見通しとなっています。

業況判断 D.I.(全業種)



(注)「全国」「東海」は日銀短観、「岐阜県」は株式会社日本政策金融公庫岐阜支店・多治見支店による。

業況判断

(%)

業種	2025年7月~9月(前期)				2025年10月~12月(今期)					これから3ヵ月間の見通し			
	良い	良悪なし	悪い	D. I.	良い	良悪なし	悪い	D. I.	(見通し)*	良い	良悪なし	悪い	D. I.
製造業	20.8	41.5	37.7	▲16.9	22.9	39.6	37.5	▲14.6	(▲24.5)	14.6	41.7	43.8	▲29.2
卸売業	0.0	46.2	53.8	▲53.8	8.3	41.7	50.0	▲41.7	(▲46.1)	8.3	33.3	58.3	▲50.0
小売業	20.0	32.7	47.3	▲27.3	8.0	38.0	54.0	▲46.0	(▲38.2)	12.0	32.0	56.0	▲44.0
飲食業	14.3	71.4	14.3	0.0	0.0	72.7	27.3	▲27.3	(0.0)	0.0	72.7	27.3	▲27.3
サービス業	19.0	52.4	28.6	▲9.6	25.0	41.7	33.3	▲8.3	(▲19.1)	20.8	33.3	45.8	▲25.0
建設業	18.2	51.5	30.3	▲12.1	22.6	45.2	32.3	▲9.7	(▲15.1)	22.6	38.7	38.7	▲16.1
不動産業	33.3	66.7	0.0	33.3	33.3	50.0	16.7	16.6	(16.7)	16.7	66.7	16.7	0.0
農業	20.0	40.0	40.0	▲20.0	50.0	16.7	33.3	16.7	(40.0)	33.3	0.0	66.7	▲33.4
全業種	18.5	45.0	36.5	▲18.0	18.1	42.0	39.9	▲21.8	(▲23.0)	15.4	38.3	46.3	▲30.9

※ () 内は前回調査時での見通し

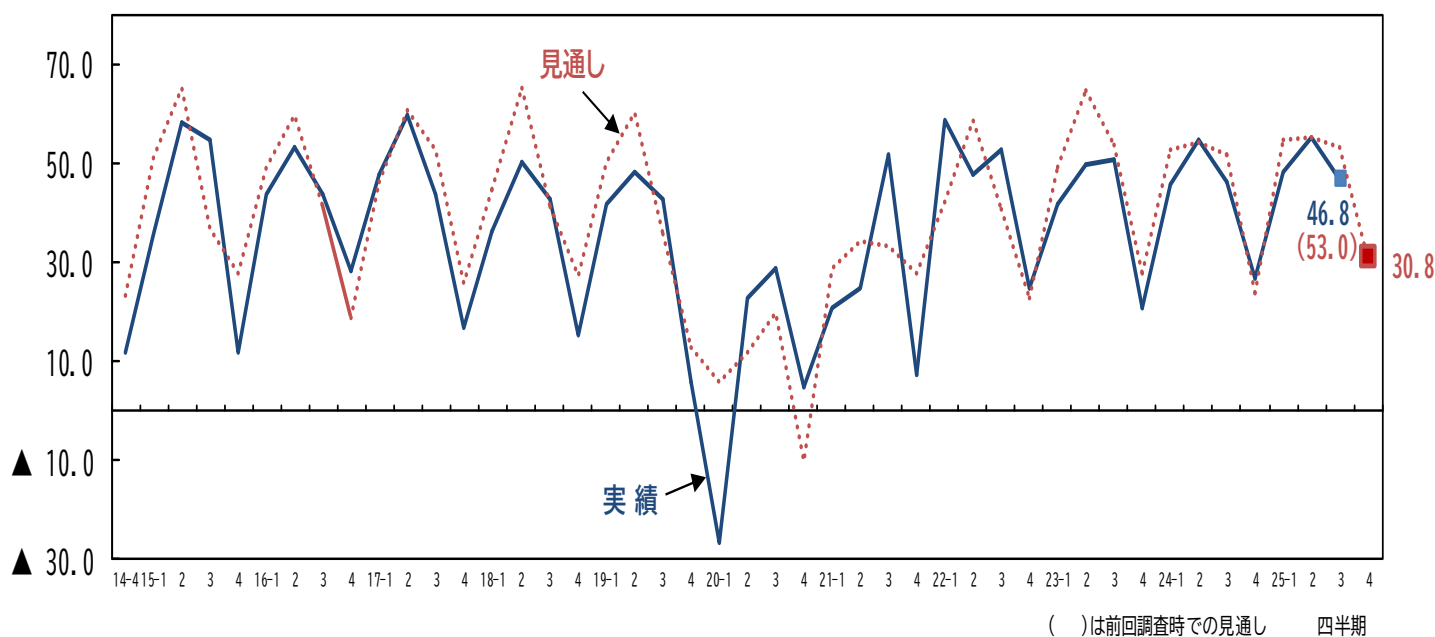
2. 売上・受注

(1) 売上（建設業除く）

建設業を除く売上額判断D. I.（増加－減少）は、今期46.8と前期55.0に比べ8.2ポイント悪化となりました。業種別では、農業で改善、小売業、卸売業で横ばいも、不動産業、飲食業、サービス業、製造業で悪化となりました。

来期の見通しは、不動産業、飲食業で改善も、農業、卸売業、小売業、製造業、サービス業で悪化予想となっており、全業種の予想売上額判断D. I.は30.8と今期に比べ16.0ポイント悪化予想となっています。

売上 D.I.（建設業除く）



売上（建設業除く）

(%)

業種	2025年7月～9月(前期)			2025年10月～12月(今期)				これから3ヵ月間の見通し		
	増加	減少	D. I.	増加	減少	D. I.	(見通し)*	増加	減少	D. I.
製造業	75.5	24.5	51.0	66.7	33.3	33.4	(62.2)	58.3	41.7	16.6
卸売業	76.9	23.1	53.8	75.0	25.0	50.0	(69.2)	41.7	58.3	▲16.6
小売業	61.8	38.2	23.6	64.0	36.0	28.0	(16.4)	54.0	46.0	8.0
飲食業	85.7	14.3	71.4	72.7	27.3	45.4	(42.8)	81.8	18.2	63.6
サービス業	81.0	19.0	62.0	70.8	29.2	41.6	(33.4)	66.7	33.3	33.4
不動産業	100.0	0.0	100.0	66.7	33.3	33.4	(66.6)	83.3	16.7	66.6
農業	60.0	40.0	20.0	83.3	16.7	66.6	(100.0)	33.3	66.7	▲33.4
全業種	77.5	22.5	55.0	73.4	26.6	46.8	(53.0)	65.4	34.6	30.8

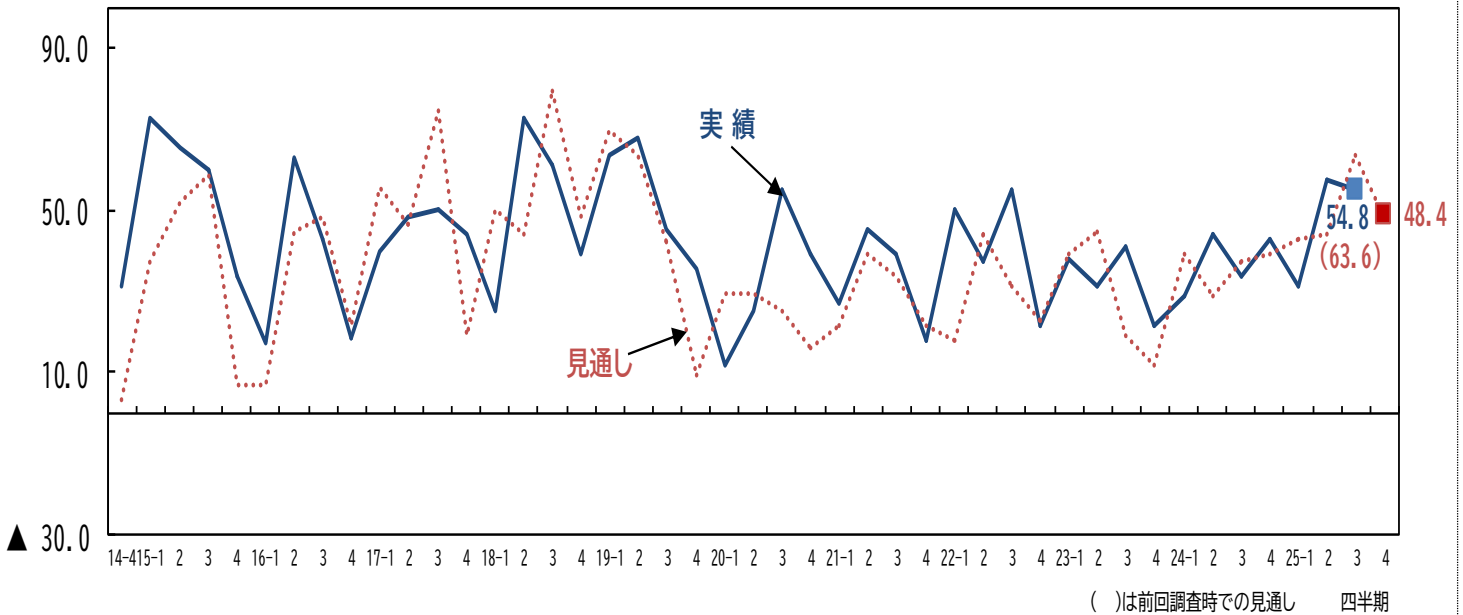
※ ()内は前回調査時での見通し

(2) 受注（建設業）

建設業（建築工事22先、土木工事13先）の受注高判断D.I.（増加－減少）は、今期54.8と前期57.6に比べ2.8ポイント悪化となりました。業種別では、土木工事は今期33.4と前期と変わらず、建築工事では今期68.4と前期71.4に比べ3.0ポイント悪化となりました。

来期の見通しは、土木工事は今期と同じ33.4、建築工事は57.8と今期に比べ10.6ポイント悪化予想となっており、建設業全体では48.4と今期に比べ6.4ポイント悪化予想となっています。

受注 D. I.(建設業)



受注（建設業）

(%)

業種	2025年7月～9月(前期)			2025年10月～12月(今期)				これから3ヵ月間の見通し		
	増加	減少	D. I.	増加	減少	D. I.	(見通し)*	増加	減少	D. I.
建設業	78.8	21.2	57.6	77.4	22.6	54.8	(63.6)	74.2	25.8	48.4

受注（業種別）

(%)

業種 (大別)	2025年7月～9月(前期)			2025年10月～12月(今期)				これから3ヵ月間の見通し		
	増加	減少	D. I.	増加	減少	D. I.	(見通し)*	増加	減少	D. I.
土木工事	66.7	33.3	33.4	66.7	33.3	33.4	(66.6)	66.7	33.3	33.4
建築工事	85.7	14.3	71.4	84.2	15.8	68.4	(62.0)	78.9	21.1	57.8

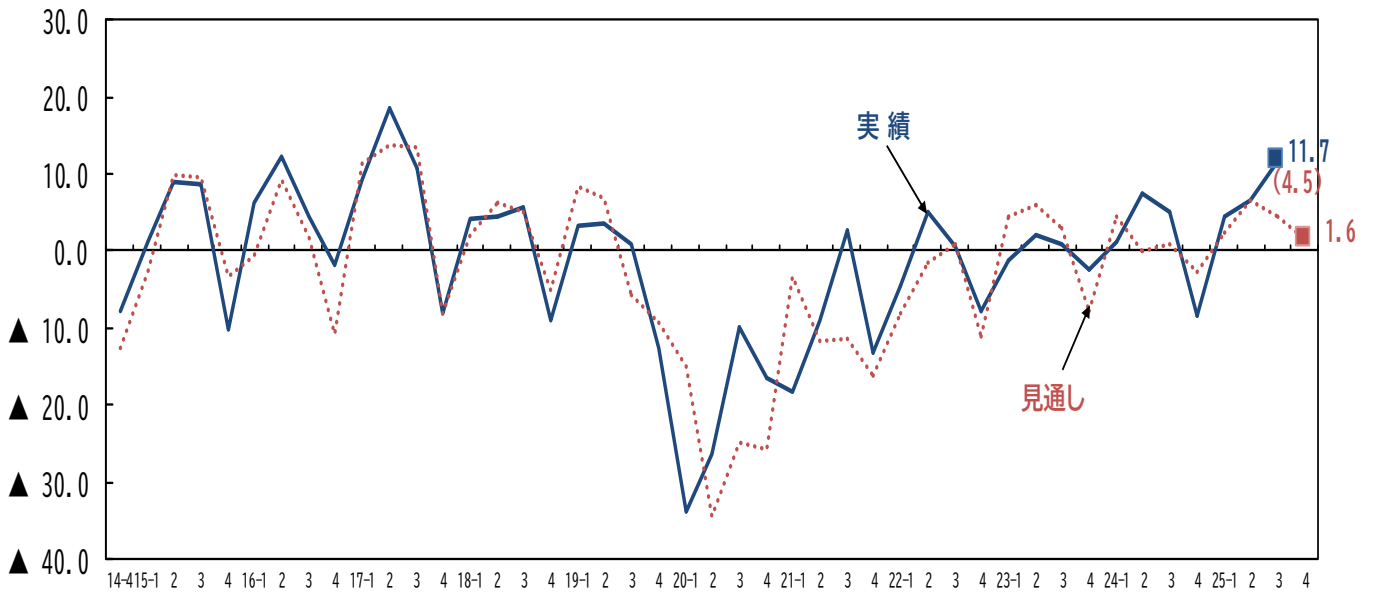
※（ ）内は前回調査時での見通し

3. 採算水準

全業種の採算水準判断D. I. (黒字-赤字) は、今期11.7と前期6.5に比べ5.2ポイント改善となりました。業種別では、サービス業、不動産業で悪化、建設業、小売業で横ばいも、農業、製造業、飲食業、卸売業で改善となりました。

来期の見通しは、小売業、サービス業で横ばいも、不動産業、農業、卸売業、製造業、建設業、飲食業で悪化予想となっており、全業種の予想採算水準判断D. I. は1.6と今期に比べ10.1ポイント悪化予想となっています。

採算水準D. I.(全業種)



()は前回調査時での見通し 四半期

採算水準

(%)

業種	2025年7月～9月(前期)				2025年10月～12月(今期)					これから3ヵ月間の見通し			
	黒字	収支ト/ロ	赤字	D. I.	黒字	収支ト/ロ	赤字	D. I.	(見通し)*	黒字	収支ト/ロ	赤字	D. I.
製造業	20.8	54.7	24.5	▲3.7	35.4	45.8	18.8	16.6	(9.5)	29.2	47.9	22.9	6.3
卸売業	15.4	76.9	7.7	7.7	33.3	50.0	16.7	16.6	(23.1)	16.7	50.0	33.3	▲16.6
小売業	25.5	47.3	27.3	▲1.8	26.0	46.0	28.0	▲2.0	(▲9.1)	28.0	40.0	32.0	▲4.0
飲食業	28.6	57.1	14.3	14.3	36.4	54.5	9.1	27.3	(0.0)	36.4	45.5	18.2	18.2
サービス業	33.3	47.6	19.0	14.3	25.0	45.8	29.2	▲4.2	(▲4.8)	29.2	33.3	37.5	▲8.3
建設業	33.3	51.5	15.2	18.1	38.7	41.9	19.4	19.3	(6.1)	29.0	51.6	19.4	9.6
不動産業	66.7	33.3	0.0	66.7	50.0	50.0	0.0	50.0	(66.7)	16.7	83.3	0.0	16.7
農業	20.0	60.0	20.0	0.0	50.0	33.3	16.7	33.3	(20.0)	33.3	33.3	33.3	0.0
全業種	27.0	52.5	20.5	6.5	33.0	45.7	21.3	11.7	(4.5)	28.2	45.2	26.6	1.6

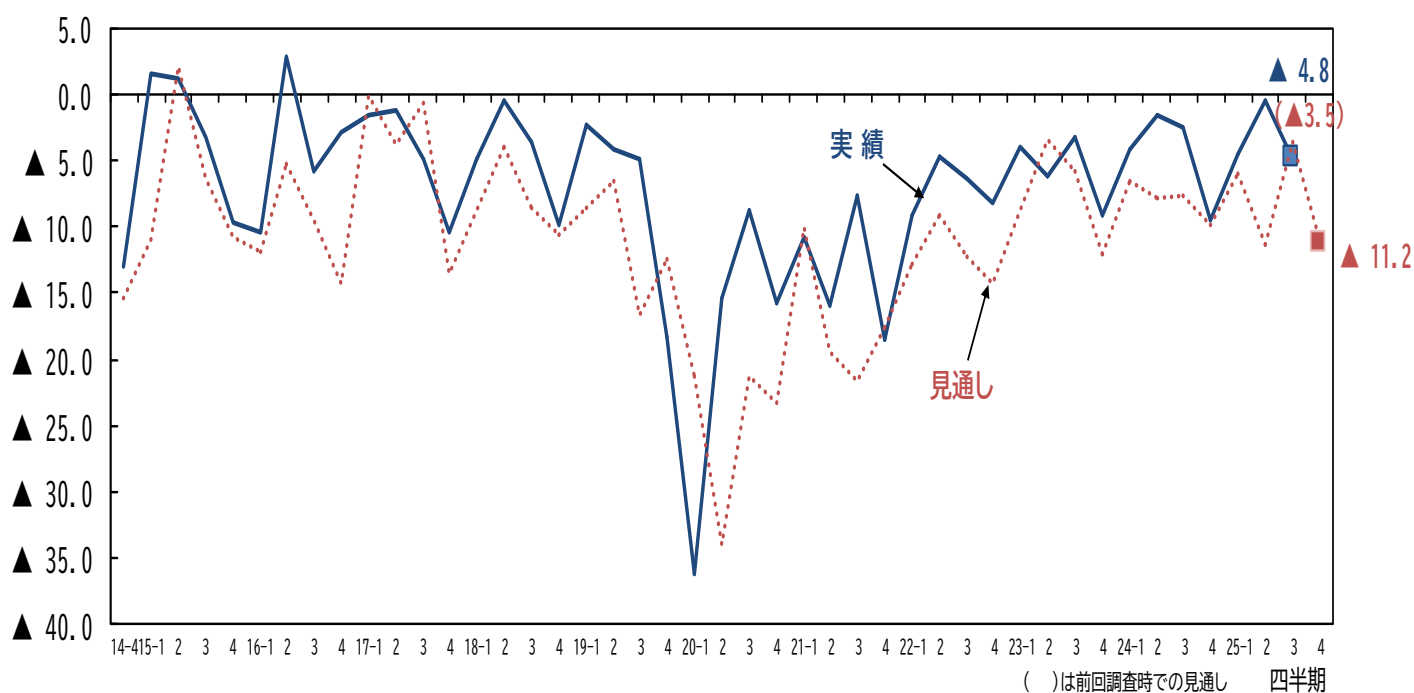
※ ()内は前回調査時での見通し

4. 資金繰り

全業種の資金繰り判断D. I. (好転-悪化) は、今期▲4.8と前期▲0.5に比べ4.3ポイント悪化となりました。業種別では、農業、不動産業で改善、製造業、飲食業、卸売業で横ばいも、サービス業、小売業、建設業で悪化となりました。

来期の見通しは、建設業、小売業、サービス業で横ばいも、農業、不動産業、飲食業、卸売業、製造業で悪化予想となっており、全業種の予想資金繰り判断D. I. は▲11.2と今期に比べ6.4ポイント悪化予想となっています。

資金繰りD.I.(全業種)



資金繰り

(%)

業種	2025年7月～9月(前期)				2025年10月～12月(今期)					これから3ヵ月間の見通し			
	好転	不変	悪化	D. I.	好転	不変	悪化	D. I.	(見通し)*	好転	不変	悪化	D. I.
製造業	7.5	86.8	5.7	1.8	8.3	85.4	6.3	2.0	(▲3.8)	6.3	81.3	12.5	▲6.2
卸売業	0.0	92.3	7.7	▲7.7	8.3	75.0	16.7	▲8.4	(0.0)	8.3	66.7	25.0	▲16.7
小売業	10.9	72.7	16.4	▲5.5	2.0	78.0	20.0	▲18.0	(▲9.1)	4.0	72.0	24.0	▲20.0
飲食業	7.1	85.7	7.1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	(7.2)	0.0	90.9	9.1	▲9.1
サービス業	23.8	61.9	14.3	9.5	4.2	83.3	12.5	▲8.3	(▲9.5)	0.0	87.5	12.5	▲12.5
建設業	12.1	78.8	9.1	3.0	6.5	83.9	9.7	▲3.2	(▲3.0)	6.5	87.1	6.5	0.0
不動産業	0.0	100.0	0.0	0.0	16.7	83.3	0.0	16.7	(0.0)	0.0	100.0	0.0	0.0
農業	0.0	80.0	20.0	▲20.0	50.0	33.3	16.7	33.3	(40.0)	16.7	33.3	50.0	▲33.3
全業種	10.0	79.5	10.5	▲0.5	6.9	81.4	11.7	▲4.8	(▲3.5)	4.8	79.3	16.0	▲11.2

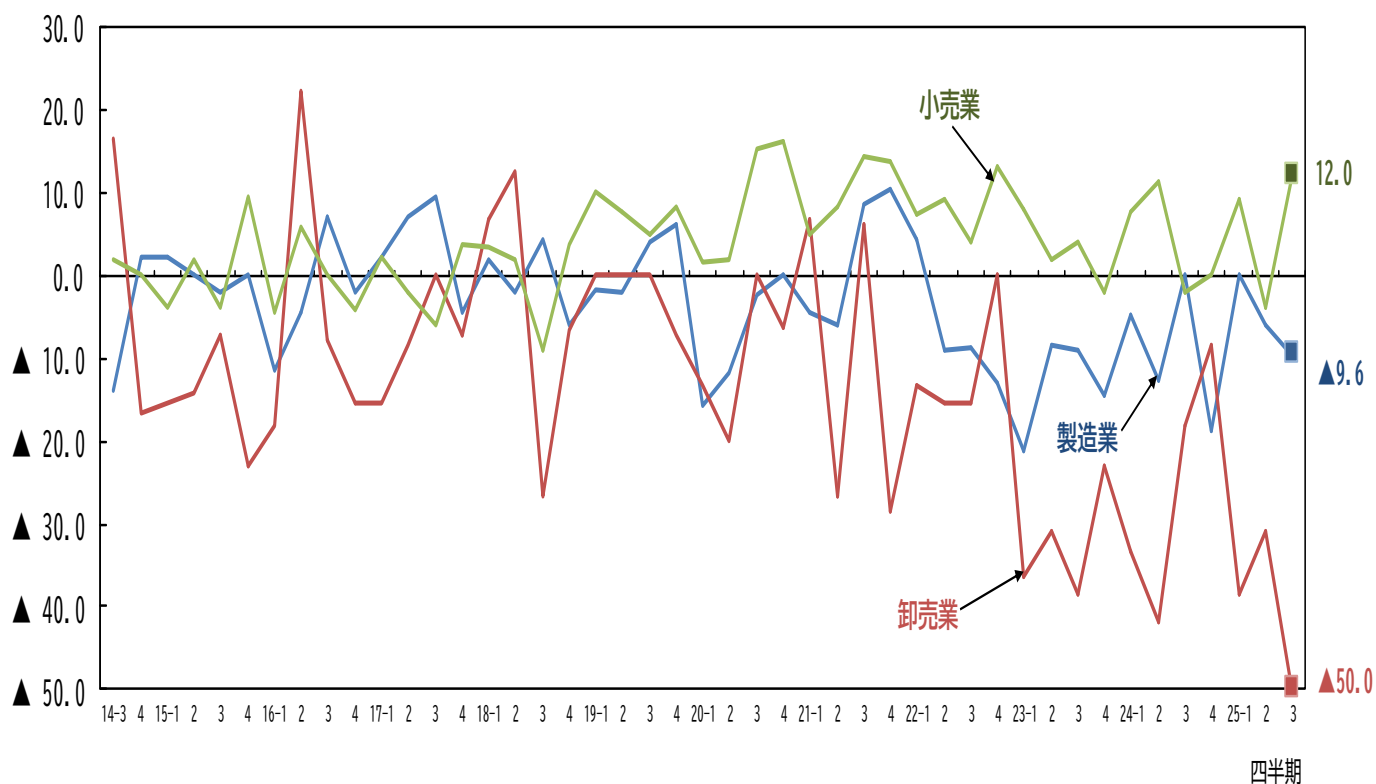
※ ()内は前回調査時での見通し

5. 製品(商品)在庫

製品（商品）在庫判断D. I.（不足－過大）は、製造業で▲9.6と前期比3.5ポイント低下、卸売業で▲50.0と前期比19.2ポイント低下、小売業で12.0と前期比15.7ポイント上昇となりました。

製品（商品）在庫の過不足感については、製造業と卸売業では適正感が減少し過大感が増加、小売業では不足感が増加し適正感が減少しました。

製品(商品)在庫D.I.



製品(商品)在庫

(%)

業種	2025年7月～9月(前期)				2025年10月～12月(今期)			
	不足	適正	過大	D. I.	不足	適正	過大	D. I.
製造業	6.1	81.6	12.2	▲6.1	7.1	76.2	16.7	▲9.6
卸売業	0.0	69.2	30.8	▲30.8	0.0	50.0	50.0	▲50.0
小売業	13.0	70.4	16.7	▲3.7	30.0	52.0	18.0	12.0

6. 設備投資

設備投資を今期「行った」とする割合は25.5%と前期から6.5ポイント低下しました。

今期の投資目的としては「機械・設備の新・増設」と「車両」が12件と最も多く、次いで、「機械・設備の更改」が9件、「事務機器」が8件、「事業用土地・建物」が6件の順となっています。

来期に設備投資を「行う」とする割合は17.6%と今期に比べ7.9ポイント低下しています。

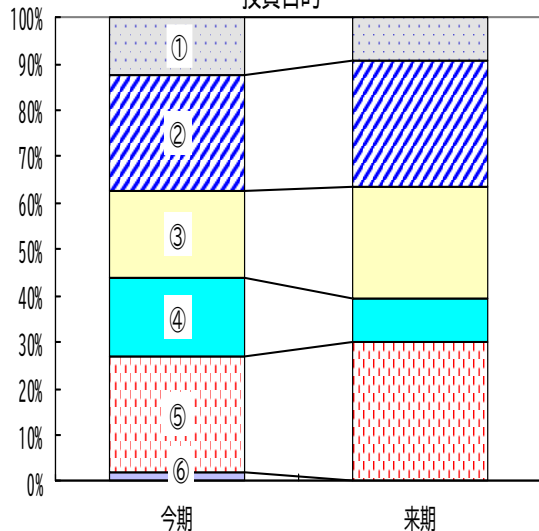
設備投資

業種	2025年7月～9月(前期)		2025年10月～12月(今期)		これから3ヵ月間の見通し	
	行った	行わなかった	行った	行わなかった	行う	行わない
製造業	37.7	62.3	29.2	70.8	25.0	75.0
卸売業	30.8	69.2	0.0	100.0	0.0	100.0
小売業	21.8	78.2	28.0	72.0	12.0	88.0
飲食業	50.0	50.0	0.0	100.0	9.1	90.9
サービス業	23.8	76.2	33.3	66.7	8.3	91.7
建設業	36.4	63.6	29.0	71.0	32.3	67.7
不動産業	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0
農業	80.0	20.0	50.0	50.0	33.3	66.7
全業種	32.0	68.0	25.5	74.5	17.6	82.4

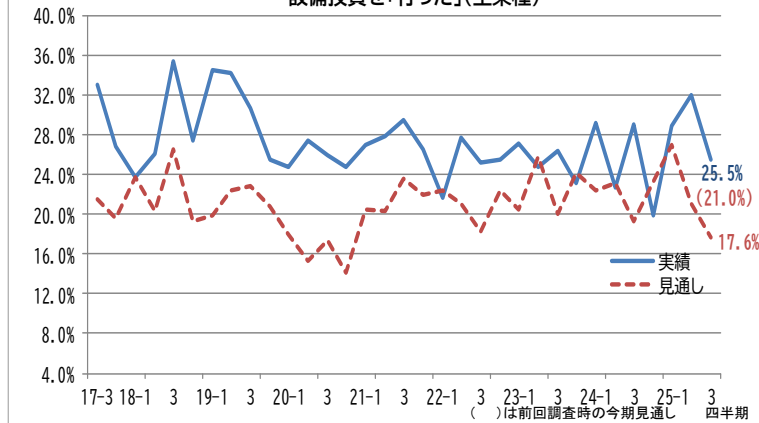
投資目的

区分	2025年10月～12月(今期)		これから3ヵ月間の見通し	
	件数	割合	件数	割合
① 事業用土地・建物	6	12.5	3	9.1
② 機械・設備の新・増設	12	25.0	9	27.3
③ 機械・設備の更改	9	18.8	8	24.2
④ 事務機器	8	16.7	3	9.1
⑤ 車両	12	25.0	10	30.3
⑥ その他	1	2.1	0	0.0
合計	48	100.0	33	100.0

投資目的



設備投資を「行った」(全業種)



7. 経営上の問題点

経営上の問題点として、「売上の停滞・減少」が42.6%（前期比+5.6ポイント）と依然として最も多く、次いで「人手不足」が22.9%（前期比+0.9ポイント）、「利幅の縮小」が14.9%（前期比▲4.1ポイント）、「設備の狭小・老朽化」が8.5%（前期比+1.5ポイント）、「特に問題なし」が4.8%（前期比▲2.7ポイント）と続きました。

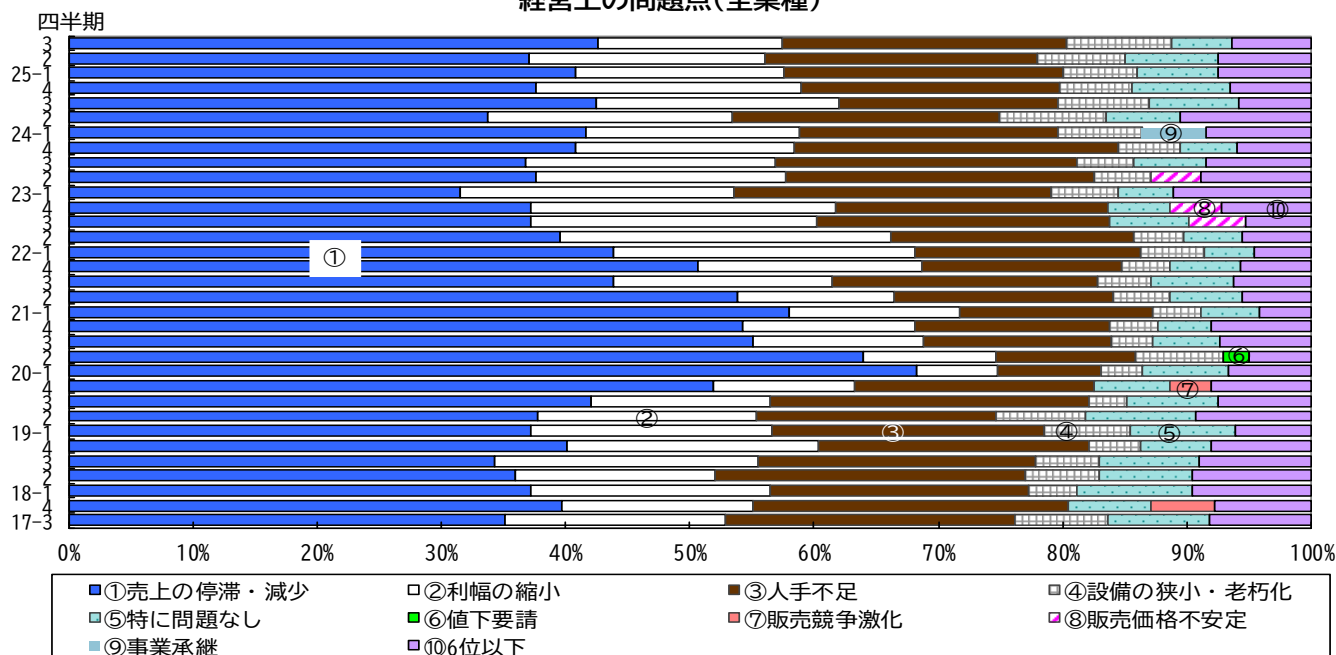
業種別では、製造業、卸売業、小売業、飲食業、建設業、不動産業で「売上の停滞・減少」、サービス業、農業で「人手不足」の回答が最も多い結果となりました。

経営上の問題点

(%)

業種	1位	2位	3位	4位	5位
製造業	売上減少 41.7	人手不足 22.9	利幅縮小 18.8	設備老朽 10.4	問題なし 6.3
卸売業	売上減少 58.3	利幅縮小 16.7	人手不足 8.3	設備老朽 8.3	販売価格不安定 8.3
小売業	売上減少 60.0	人手不足 16.0	利幅縮小 12.0	事業承継 6.0	販売価格不安定 4.0
飲食業	売上減少 36.4	人手不足 27.3	設備老朽 18.2	利幅縮小 9.1	問題なし 9.1
サービス業	人手不足 29.2	売上減少 25.0	利幅縮小 16.7	設備老朽 12.5	問題なし 8.3
建設業	売上減少 32.3	人手不足 29.0	利幅縮小 16.1	事業承継 9.7	問題なし 9.7
不動産業	売上減少 33.3	人手不足 33.3	設備老朽 16.7	競争激化 16.7	-
農業	人手不足 33.3	設備老朽 33.3	売上減少 16.7	利幅縮小 16.7	-
全業種	売上減少 42.6	人手不足 22.9	利幅縮小 14.9	設備老朽 8.5	問題なし 4.8

経営上の問題点(全業種)



区分	22-2	3	4	23-1	2	3	4	24-1	2	3	4	25-1	2	3
売上の停滞・減少	39.5	37.2	37.2	31.5	37.6	36.8	40.7	41.7	33.7	42.5	37.6	40.8	37.0	42.6
利幅の縮小	26.7	23.0	24.5	22.1	20.1	20.0	17.6	17.2	19.6	19.7	21.3	16.9	19.0	14.9
人手不足	19.5	23.6	21.9	25.4	24.7	24.2	26.1	20.8	21.6	17.6	20.8	22.4	22.0	22.9
特に問題なし	4.6	6.3	5.1	4.4	-	5.8	4.5	-	6.0	7.3	7.9	6.5	7.5	4.8
販売価格の不安定	-	4.7	4.1	-	4.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
設備の狭小・老朽化	4.1	-	-	5.5	4.6	4.7	5.0	6.8	8.5	7.3	5.9	6.0	7.0	8.5
販売競争激化	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
事業承継	-	-	-	-	-	-	-	5.2	-	-	-	-	-	-
値下要請	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※「-」は6位以下を示しています。

8. 業況の回復時期

業況の回復時期は、「すでに回復」が6.9%と最も多く、次いで「2026年7月～9月」が6.4%、「2026年4月～6月」が5.3%、「2026年1月～3月」が3.7%と続きました。一方で、「わからない」との回答が71.8%と大半を占めており、依然として景気の先行き不透明感が強い結果となりました。

業況の回復時期

(先、%)

業種	回答企業数	すでに回復	2026年			2027年		わからない
			1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～3月	4月以降	
製造業	48	6.3	8.3	6.3	2.1	2.1	0.0	75.0
卸売業	12	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	8.3	75.0
小売業	50	8.0	2.0	10.0	6.0	0.0	2.0	72.0
飲食業	11	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	9.1	72.7
サービス業	24	0.0	8.3	4.2	4.2	0.0	0.0	83.3
建設業	31	6.5	0.0	3.2	6.5	3.2	9.7	71.0
不動産業	6	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
農業	6	33.3	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	33.3
全業種	188	6.9	3.7	5.3	6.4	2.7	3.2	71.8

補足調査

製造業、小売業について「売上高」「受注額」「業況判断」の前年同期(第3四半期)との比較調査を毎期実施しております。

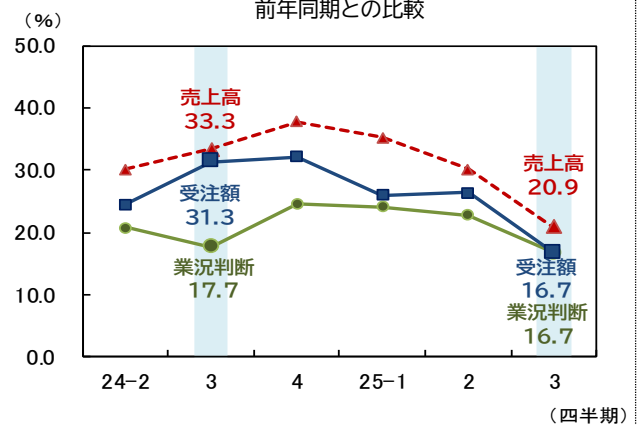
<製造業> (回答数 前年同期51先、今期48先)

「売上高」では、前年同期は“増加”“やや増加”を合わせた割合が33.3%だったのに対し、今期は20.9%と12.4ポイント低下しました。

「受注額」では、前年同期は“増加”“やや増加”を合わせた割合が31.3%だったのに対し、今期は16.7%と14.6ポイント低下しました。

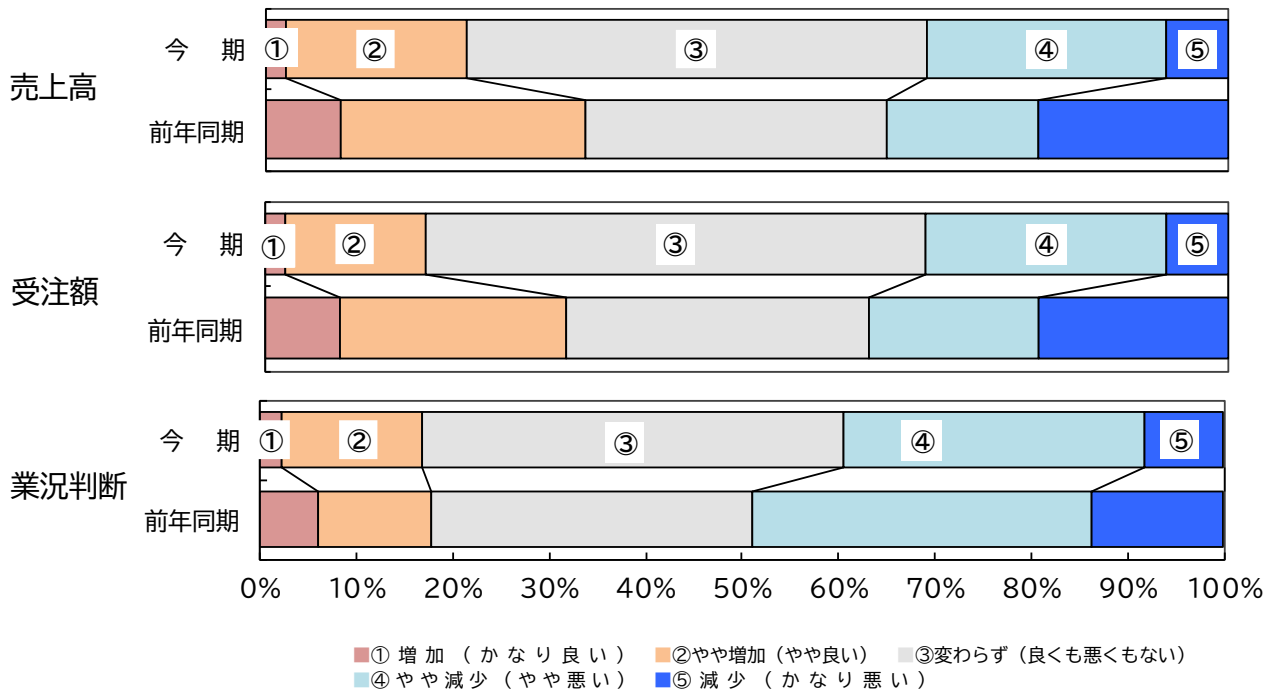
「業況判断」では、前年同期は“かなり良い”“やや良い”を合わせた割合が17.7%だったのに対して、今期は16.7%と1.0ポイント悪化しています。

「売上高」「受注額」の“増加”“やや増加”
「業況判断」の“かなり良い”“やや良い”
前年同期との比較



(先、%)

区分	売上高		受注額		区分	業況判断			
	2024年10月～12月	2025年10月～12月	2024年10月～12月	2025年10月～12月		2024年10月～12月	2025年10月～12月		
①増加	4	7.8	1	2.1	①かなり良い	3	5.9	1	2.1
②やや増加	13	25.5	9	18.8	②やや良い	6	11.8	7	14.6
③変わらず	16	31.4	23	47.9	③良くも悪くもない	17	33.3	21	43.8
④やや減少	8	15.7	12	25.0	④やや悪い	18	35.3	15	31.3
⑤減少	10	19.6	3	6.3	⑤かなり悪い	7	13.7	4	8.3
合計	51	100.0	48	100.0	合計	51	100.0	48	100.0

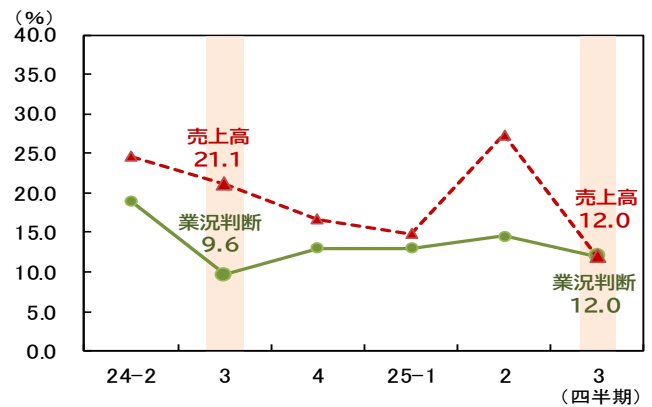


<小売業> (回答数 前年同期 52先、今期 50先)

「売上高」では、前年同期は“増加”“やや増加”を合わせた割合が21.1%だったのに対し、今期は12.0%と9.1ポイント低下しました。

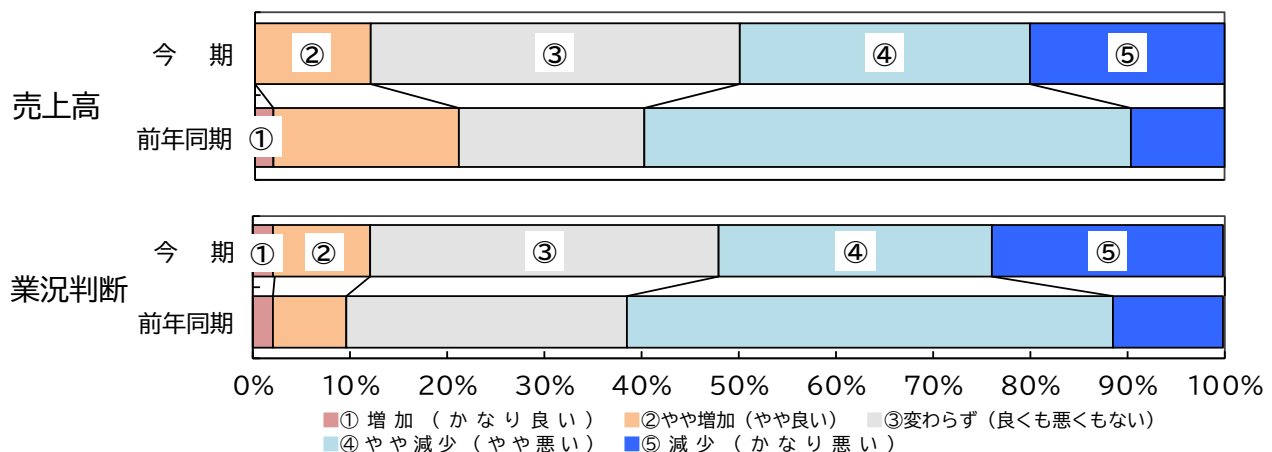
「業況判断」では、前年同期は“かなり良い”“やや良い”を合わせた割合が9.6%だったのに対して、今期は12.0%と2.4ポイント改善しています。

「売上高」の“増加”“やや増加”
「業況判断」の“かなり良い”“やや良い”
前年同期との比較



(先、%)

区分	売上高				区分	業況判断			
	2024年10月~12月		2025年10月~12月			2024年10月~12月		2025年10月~12月	
① 増加	1	1.9	0	0.0	① かなり良い	1	1.9	1	2.0
② やや増加	10	19.2	6	12.0	② やや良い	4	7.7	5	10.0
③ 変わらず	10	19.2	19	38.0	③ 良くも悪くもない	15	28.8	18	36.0
④ やや減少	26	50.0	15	30.0	④ やや悪い	26	50.0	14	28.0
⑤ 減少	5	9.6	10	20.0	⑤ かなり悪い	6	11.5	12	24.0
合計	52	100.0	50	100.0	合計	52	100.0	50	100.0



有効求人倍率について

$$\text{有効求人倍率} = \frac{\text{月間有効求人数}}{\text{月間有効求職者数}}$$

公共職業安定所岐阜八幡出張所(郡上市)、高山公共職業安定所の公表資料等を基に、2025年11月の有効求人倍率(学卒を除きパートを含む)を掲載しております。

<岐阜八幡管内>

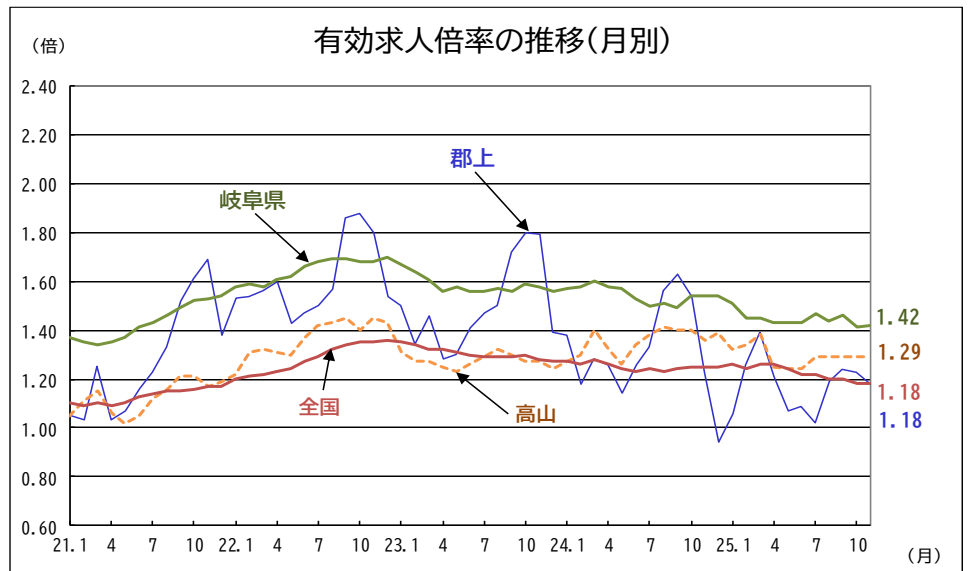
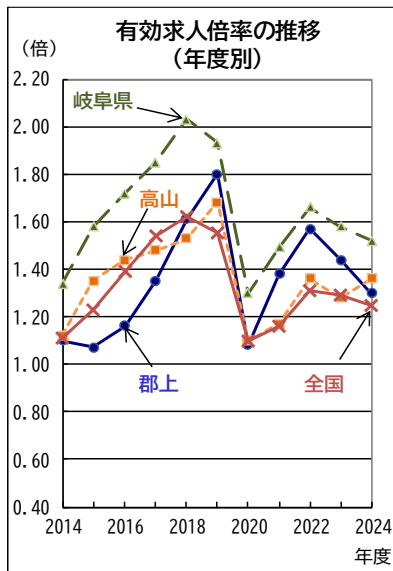
岐阜八幡管内は1.18倍と前月比、前年同月比ともに0.05ポイント低下となりました。また、新規求人数は184人で前年同月比64人増加となりました。

<高山管内>

高山管内は1.29倍と前月と同率、前年同月比では0.07ポイント低下となりました。また、新規求人数は812人で前年同月比50人減少となりました。

<岐阜県および全国>

岐阜県は1.42倍と前月比0.01ポイント上昇、前年同月比では0.12ポイント低下となりました。また、全国は1.18倍と前月と同率、前年同月比では0.07ポイント低下となりました。



年度別有効求人倍率

区分	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
郡上	1.10	1.07	1.16	1.35	1.61	1.80	1.08	1.38	1.57	1.44	1.30
高山	1.12	1.35	1.44	1.48	1.53	1.68	1.10	1.17	1.36	1.28	1.36
岐阜県	1.34	1.58	1.72	1.85	2.03	1.93	1.30	1.49	1.66	1.58	1.52
全国	1.11	1.23	1.39	1.54	1.62	1.55	1.10	1.16	1.31	1.29	1.25

有効求人倍率

区分	2023.4	5	6	7	8	9	10	11	12	2024.1	2	3
郡上	1.28	1.30	1.41	1.47	1.50	1.72	1.80	1.79	1.39	1.38	1.18	1.28
高山	1.25	1.23	1.26	1.29	1.32	1.30	1.27	1.27	1.24	1.27	1.30	1.40
岐阜県	1.56	1.58	1.56	1.56	1.57	1.56	1.59	1.58	1.56	1.57	1.58	1.60
全国	1.32	1.31	1.30	1.29	1.29	1.29	1.30	1.28	1.27	1.27	1.26	1.28

区分	2024.4	5	6	7	8	9	10	11	12	2025.1	2	3
郡上	1.26	1.14	1.26	1.33	1.56	1.63	1.54	1.23	0.94	1.06	1.26	1.39
高山	1.32	1.26	1.34	1.38	1.41	1.40	1.40	1.36	1.39	1.32	1.34	1.38
岐阜県	1.58	1.57	1.53	1.50	1.51	1.49	1.54	1.54	1.54	1.51	1.45	1.45
全国	1.26	1.24	1.23	1.24	1.23	1.24	1.25	1.25	1.25	1.26	1.24	1.26

区分	2025.4	5	6	7	8	9	10	11
郡上	1.21	1.07	1.09	1.02	1.19	1.24	1.23	1.18
高山	1.25	1.24	1.24	1.29	1.29	1.29	1.29	1.29
岐阜県	1.43	1.43	1.43	1.47	1.44	1.46	1.41	1.42
全国	1.26	1.24	1.22	1.22	1.20	1.20	1.18	1.18